



成人向けCG集  
基本CG12枚  
本編231枚

# 1人娘に父と5兄弟の 大家族

父親と5人兄弟の性欲処理も母親代わりの私の役目、  
24時間頑張ります!



**中村 香織** (なかむら かおり)

身長: 156cm

B88/W56/H86 (Fカップ)

五男一女の中村家で  
家事を担当している女の子。  
父や兄弟の性欲処理も家事の一環です♡

家事をしやすいうように髪型はポニテが多いです。  
それによってセクシーさが倍増♡  
無意識のうちに兄弟たちを興奮させています。

父や兄弟たちに胸を揉まれまくっているため  
日に日にバストが大きくなっています♡

チュン  
チュン

んんんんん

やっぱり眠いなあ…

でも、遅くなっちゃった分、  
急いで支度しないと



ある週の金曜日

まだ家族が寝ている時間、  
まふた  
瞼を擦りながら居間へやってきました。



なかむら かおり  
私——中村香織は、毎朝このくらい  
の時間に起きています。

今日は少しだけ寝不足で、  
起きるのが遅くなっちゃったけど。

どうしてそんなに早く起きて  
いるかと言えば…私には  
お母さんがいないからです。

私がまだ小さかった頃に、  
お母さんは亡くなったのでした。

中村家は、私の他に上に二人、下に三人の兄弟がいます。

みんな男で、女は一人……だから、私は思ったんです。

みんなのお母さん代わりにならなくちゃって。

それ以来、私は少しずつ家事を覚え始めました。

今では……まだただけどう少しはお母さんの代わりになれてるかな？

これでよし…と

朝ご飯を作りつつ、  
お弁当の準備も進めていきます。

そうすると、「番上のお兄ちゃん」  
栄一お兄ちゃんが起きてきました。



すんすん

美味そうな匂いだな

おはよう、お兄ちゃん

中村

ああ、おはよう。…ところですか、  
今日もしてもらっていいからか？

ゴキウーっ

栄一お兄ちゃんは、私の後ろに立って抱きしめてくれました。

そうすると、ズボンのある部分が…完全に勃起しているそれが、お尻に押し当てられます。

グビッ



もうっ  
またこんなに大きくして…  
抜いてあげないと会社に行けないじゃん

悪いとは思ってるけどさ、男は毎朝こうなっちゃうんだから仕方ないだろ



私はみんなのお母さん代わりだから、  
性欲処理も私の仕事の一つです。

毎日、朝立ちしてしまいうみんなを  
落ち着かせないといけません。

でも、今日は他の家事が  
まだ終わってらなからので...

ごめんね、お兄ちゃん  
他にもすることあるから、  
自分でしてもらってもいい？

ああ

無理言って悪いな  
じゃあ早速...

ぬるぬる...

ひゃっ  
ちよ、ちよっと  
お兄ちゃん、急に...

あれ、ダメだったか？  
していいって言ったから...

そうだけど、いきなり挿れる  
とは思わなかったんだもん

そういうところ、他の女の子からは  
デリカシーがないって  
思われちゃうよ？

♡♡♡♡♡

ビビッ



悪かったよ、気を付ける

でもさ、香織のま●こだったって  
もう濡れてただろ

ドキ

だ、だから、そういうのが  
デリカシーがないって言うのっ

プルプル

くしゃん

ぬちゅん

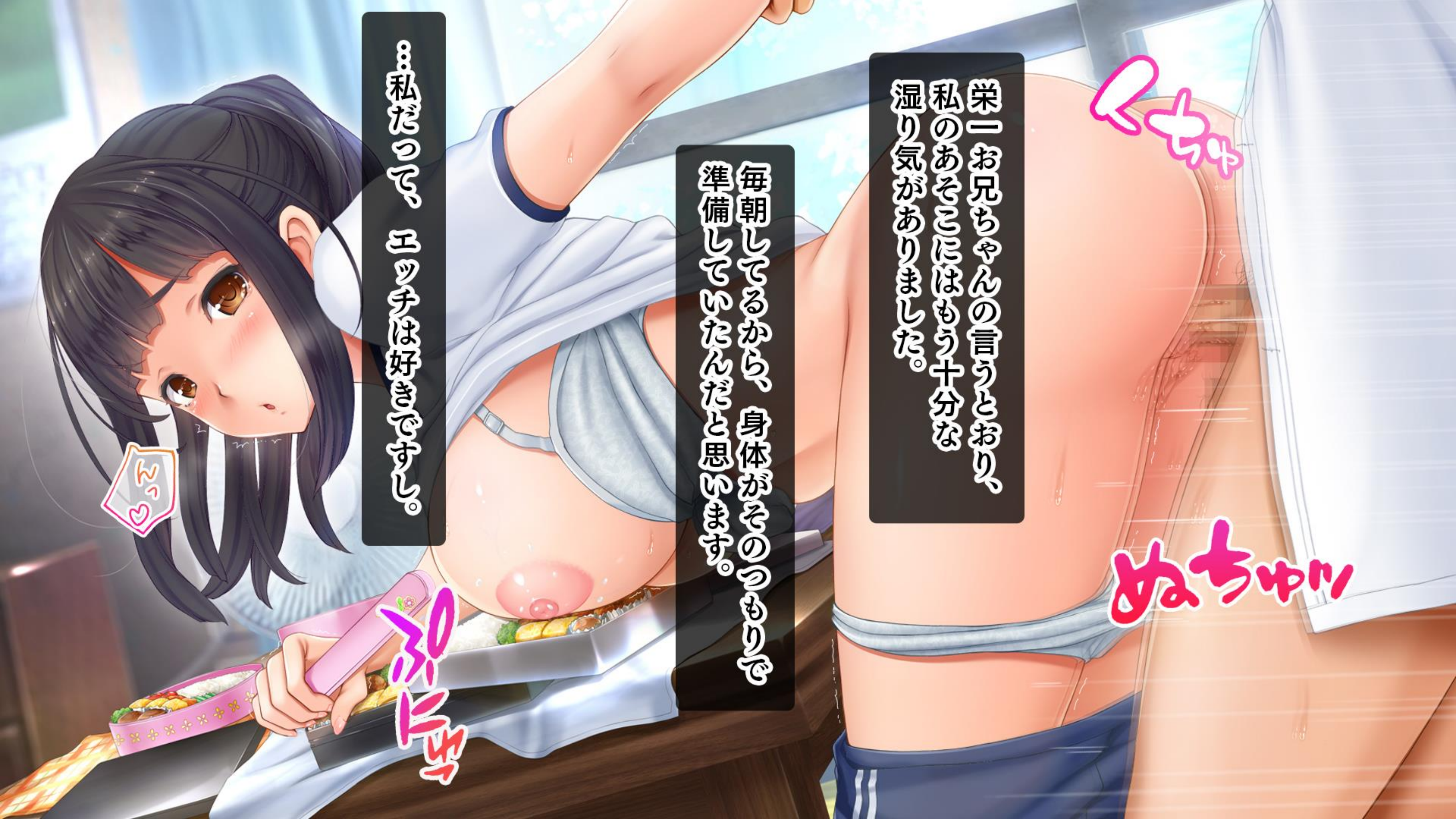
栄一お兄ちゃんのお言いとおり、  
私のあるところにはもう十分な  
湿り気がありました。

毎朝してるから、身体がそのつもりで  
準備していただんだと思います。

…私だったので、エッチは好きですし。

おっぱい

んんん



うあ、  
香織、急に  
締め付けないでくれよ…  
出ちゃいそうになっただろ

むしろ、早く出した方が  
いいでしょ？

お兄ちゃんだって  
会社の準備があるんだし

そりゃそうだけどもさ、  
もうちよっとくらい  
味わわせてくれよ

一日仕事を頑張るためにも、  
香織のま●こを堪能して  
おかないとな

はっ♡

はっ♡

びっ！！

ぬた♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ぐちよぐちよ  
ぐちよぐちよ

香織のま●こ、ぐちよぐちよで  
エロく絡みついてきてる…  
はー、毎朝最高だよ

ぬふ

ぐちよ

ぬふ

もう、お兄ちゃんってば…  
解説しないでよ、恥ずかしい

回では文句を言いましたが、  
栄一お兄ちゃんが気持ちよさをさらた  
してくるのは嬉しいです。

ぬちゅん

とま  
とま

家族が幸せになつてくれるのが、  
私にとつても「一番幸せなこと」ですから。

ガチャ

んんん

おはよ…ってなんだよ、  
もう始めてるのかよ

んんん

おはよ

おお竜二、おはよう

おはよ…あ、竜二お兄ちゃんも  
朝立ちしちやっってるね

兄貴ばっかり先にずるいぞ、  
毎朝毎朝

はあ

はあ

そうは言っても、俺の方が  
早く起きるんだから仕方ないだろ

だからって…

42703

ちゅ

ちゅちゅちゅちゅ

竜二お兄ちゃん、喧嘩しないで  
お口なら空いてるから、ね？

私がちゃんと、お兄ちゃんのこと  
気持ちよくしてあげるから

…分かったよ

が  
ちゅちゅ

は  
ちゅ

ん





42702

おっぱい

おっぱい

おっぱい

竜二お兄ちゃんの大きくなつたものが、  
目の前に突きつけられました。

私がそれを頬張ると、不機嫌そうだった  
竜二お兄ちゃん表情も変わります。

おっぱい

おっぱい

おっぱい

うあっ

相変わらずすごいな、  
香織の口ま●こ…全部、  
吸い出されそうだ…っ

他の女とは全然違くて…  
俺の気持ちいいところ、  
全部分かってるっていうかさ

こら竜二、今は他の相手の  
話なんてしなくても…

ふん、褒めてるん  
だからいいだろ？

それとも、モテない  
兄貴のひがみか？

お前なあ…

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

んんん

じいぶ

グッ

ふあ...

こーら、喧嘩はダメだったば

おん

グッ

グッ

栄一お兄ちゃん、  
私は気にしてないからいいよ

それと、他の人より気持ちいいの  
なんて当たり前：毎朝抜いて  
あげてるんだもん

早く抜いてあげないと  
朝の準備も出来ないし、  
覚えちゃうって

はー

はー



こんら風に、ね…

香織、また急に締め付けて…っ

お兄ちゃんたちのおち○ちんが  
ビクビクと震えてきました。

射精しそうな合図を感じて、  
私はもつと気持ちよくして  
あげることにしました。

Everett

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

アッアッ

アッアッ

アッアッ

んっ

香織…香織…っ！

ああ、出すぞ…っ

朝立ちおち●ちん、  
満足させてあげるから…っ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

二人ともっ…我慢しないで、  
おっさと出しちゃってっ



hnhn

oyoyo

♡

お兄ちゃんたちが同時に  
射精して、お腹と回が  
温かいもので満たされます。

私も…ほんの軽くですが、  
イってしまいました。

クッ  
クッ  
クッ

はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ

はぁ  
はぁ

はぁ…  
はぁ…  
はぁ…

はぁっ♡  
はぁっ♡  
はぁっ♡

グル  
グル  
グル

クッ  
クッ  
クッ

もうっ  
三人とも、出し過ぎだよ

ドクッ...

ホッホ

悪いな...でも、気持ちよかったよ

ああ...でも、俺はまだ物足りないな

兄貴はそろそろ会社に行く準備しないとイケないだろ？

だったら、次は俺にま●こ使わせてくれよ

ムリムリ

アッ

ちよ、ちよつと、  
竜二お兄ちゃん...っ



竜三お兄ちゃんは、栄一お兄ちゃんと入れ替わりに私を求めてきました。

力では敵わないし、栄一お兄ちゃんに張り合おうとする竜三お兄ちゃんが可愛くて、私はそれを受け入れました。

でもそうしているうちに、今度は三人の弟たちが起きてきて……。

姉ちゃんのおっぱい、  
気持ちいい……う

姉ちゃん…手、もつと早くしてっ

はいはい  
ちゃんと気持ちよく  
してあげるからね

お兄ちゃんたち、いいなあ

はぁ

はぁ

しっしっ  
しっしっ

ぐわ  
ぐわ

ぽん

たふたふ

ぐわぐわ

ぽんぽん

しっしっ  
しっしっ

ぬる

ぬる

ぬる

ぬる

真五、ごめんね…あとで  
してあげるから、今は自分で…

うん  
大丈夫っ  
ぼく、お姉ちゃんに  
迷惑はかけないからっ

ふふっ  
ありがとう、  
真五

一番下の弟…真五は、何かと私のことを  
気にかけてくれるらしい子です。

他の二人、<sup>けんぞう</sup>健三と<sup>たかし</sup>隆四も含めて、  
いつも甘やかしてしまっているのだった。

おちゅっ♡  
ぬちゅっ♡

おちゅっ♡

うあっ

手、そこ…先っぽ、  
こねこねってするのやばいっ

すりっ

そうだよ姉ちゃん…っ  
それ、気持ちよすぎて…!!

ぬあっ  
ぐちゅぐちゅ、ダメだって…!!

ぬあっ

ちゅちゅっ

グググッ

しゅしゅ

ちゅちゅっ

グググッ

我慢する方がダメなの…  
いっぱい気持ちよくなって、  
白いの出しちゃいなさい

そうだぞ、しっかり  
気持ちよくしてもらえ

はあ

ま●こは俺が  
気持ちよくしてやる……っ

はあん♡

しっしっ

ビクッ

お兄ちゃんっ、急に……っ

ひゃう

すっ

はあ

はあ

弟たちに集中してると、  
お兄ちゃんが腰を打ち付けてきました。

！

ビクッ

ビクッ

ビクッ

油断してらたこともあり、  
情けなら声が出てしまいます。

わあ  
竜一お兄ちゃん、すごい……っ

はま

姉ちゃんも気持ちよそそう……

兄ちゃんがぱんぱんすると、  
お姉ちゃんのおっぱいが  
ぶるんぶるんって……!

はま

ビュッ

はま

コスコス

はっかん

コスコス

コスコス

はっかん

三人とも、そんなに  
見なくていいから……

コスコス

はっかん

なに言ってるんだ、香織  
男はな、女が乱れれば  
乱れるほど興奮するんだぞ

だから遠慮なく気持ちよくなって  
こいつらにエロいところ  
見せてやれよ…な？

おっぱい  
おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ

おまんこ



気を良くしたのか、竜二お兄ちゃんは  
もつと動きを速くしてらます。

私も少しずの気持ちよくなるので…  
でも、それはお兄ちゃんも同じのよなわ。

香織のま●こ、気持ちよすぎて…

いい、よい…  
お兄ちゃん、出して…？

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん

お兄ちゃん



…まだ、香織とセックスしてたい

はま

だーめ

お兄ちゃん、私たちより早く家を出ないといけないんだから

コスコス

しこしこ

しこしこ

おっぱい

おっぱい

おっぱい

しこしこ

コスコス

はま

えっちしてて遅刻なんて、させないからね？

オッパ

オッパ

健三たちにも早く出させちゃいたいし、お兄ちゃんが最初に出しちゃって…っ

オッパ

まるで小さな子のように  
我が儘を言うお兄ちゃん。

でも、気持ちいいのも我慢出来な  
みたらで、パンパンに膨らんだ  
おち○ちんを必死にこすりつけてきます。



あはあはあ  
香織...っ！

あはあはあ

あはあはあ

お兄ちゃん♡

お兄ちゃん、私もそろそろ  
イっちゃう...だから、ねっ？

あはあはあ

あはあはあ

あはあはあ

しっしっ

あはあ

しっしっ

あはあ

しっしっ

あはあ

あはあ

あはあ

あはあ

あはあ

健三たちも…私の身体に、  
白いのかけていいからっ

朝ご飯の前にっ、  
すいぎりしちやおうね…っ

うああ…

お姉

おん♡

コスコ

おん

おんおん

おん

コスコ

おんおん

うあっ

またぐちゅぐちゅって…!

お姉ちゃんっ、お姉ちゃん…っ!

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

オノオノ

オオオオオオ

オオオ



私がイっただのとほとんど同時に、  
身体のあちこちに精液がかけられました。

どろどろで温かくて、馴染んだ感触…  
家族が気持ちよくなってくれた証です。

はあはあはあ

健三、隆四、真五…  
ふふ、よくできました

はあ

竜二お兄ちゃんも、  
気持ちよかったよ…  
ありがと

はー

とろろ…♡♡♡

気持ちよく射精すると、  
みんなのおち●ちんは  
少しずつ小さくなるのでらきます。

スチャママ♡♡

無事に朝立ちの処理を  
終えたあとは、みんなで仲良く  
朝ご飯を食べることにしました。

あつ、もうこんな時間…  
そろそろ私も準備しなくちゃ

朝ご飯を食べ、竜二お兄ちゃんを  
見送ったあとも、やることは  
まだまだあります。

食器の片付け、弟たちが着ていく  
服の用意、帰ってきた後の家事に  
向けた準備…

そろそろものを済ませてらるど、  
あつとゆう間に登校時間が迫ってきました。

んっ  
ブラ、またちよつと  
キツくなってるかも…

あんなに揉まれてたら、  
大きくもなるよね

ぷんぷん

ほんと、みんなおっぱいが  
大好きなんだから…





：私たちがああいうことをするようになったのは、数年ほど前からです。

きつかけは、弟たちを  
あやしてやる時のこと。。。

おっばいに甘えられて、  
なんとなく気持ちよく感じて  
しまつたのが始まりでした。

しばらくすると、自分で弄ることを  
自然と覚えていつて…それを  
竜二お兄ちゃんに見つかってしまいました。

お兄ちゃんは興奮した様子で  
私を襲いました。

お兄ちゃんとのセックスは、一人でする  
よりもずっと気持ちよくて…それから、  
何度もするようになって。

二人で何度もしていると、  
栄一お兄ちゃんも混ざるようになりました。

もちろん、弟達の初めてでも私が  
お世話してあげました。

おち●ちんが勃起するようにな  
ったら、初めての射精を  
あそこでさせてあげて…。

今では、兄弟みんなの  
性欲処理を手伝っています。

ただ、「の問題があるって...」。

ん、しょ...

姉ちゃん、そろそろ  
学校行く...けど...

あ...ごめんね、  
まだ着替えが終わってなくて

おはよう



着替え途中の部屋に、  
健三たちがやっつけてきます。

弟たちは扉のところまで固まっていたので、  
じつと私の身体を見つめてられました。

そうしてらるうちに、ズボンの一部が  
むくむくと膨らんでいきます。

。。。どうやら、私の兄弟はみんな  
性欲が旺盛みたいで。。。すぐ  
こうなってしまうんです。





もうっ  
エロいとか言うんじゃないの

だって、姉ちゃんの裸が  
エロいんだもん

うう…ごめんなさい

もう。また大きくしちゃったの？

お兄ちゃんたちがそういう言葉を使うから、  
弟たちまで覚えてしまってます。

これは、あとで注意しなるとおっしゃる。

そろそろ思ひのさな...

ね、姉ちゃん...っ！

ひゃ...っ

健三たちは駆け寄って来ると、  
私の身体に手を伸ばして——

ひゃう  
ちよっと三人とも、  
どうしたの？

くわ  
わ

いいから、オレたちに任せてよ  
姉ちゃんのこと、気持ちよく  
したいんだ

むにゅ

わうおおお...

うん：姉ちゃんにしてもらう  
だけじゃなくて、してあげたい

ここ、舐めると  
気持ちいいんだよね？

はは

はは

はは





そうだけど、もう登校時間も近いし…私のことはいいから

ん〜が

しりり

やだ、気持ちよくする…!

そうだよ、さつき竜二兄ちゃんに  
してもらってた時みたいにするんだ

すりっ

たぶたぶ

お姉

お姉さん

お姉ちゃんが気持ちよさそうな顔していると、ぼくもううれしいし…

どうやら、健三たちはさっしきのセックスを見て真似したくなってしまうたみだらです。

三人とも…

すりっ

ちゅっ

んっが

探り探り、私のあそこや胸をらびり、反応を伺ってきます。

すりっ

ちゅっ

んっが

おま

おま



でも、なんででしょうか…三人の不器用で  
一生懸命な愛撫に、胸がきゅんと  
してしまいました。

ん〜が

んろろ

わっ  
姉ちゃんのおっぱいの  
先っぽ、すげー硬くなってきた…

ん〜

んろろ

んろろ

んろろ

ほんとだ…姉ちゃん、  
気持ちいい？  
ここ、こねこねって…

んっ  
気持ちいいよ、二人とも…

はぁめ

はぁめ



お姉さん

お姉さん

お姉さん

すっすっすっすっ

お姉さん……!!

ぼくもがんばるね、お姉ちゃん

お姉さん

お姉さん

お姉さん

お姉さん

お姉さん

お姉さん

うあっ  
姉ちゃん、エロい声出し始めた…

ゴゴゴ

ヒュー

すりっ

ヒュー

だから、エロいとか言わないの

ちゅぽ

んっ

おっ

ぽっ

だって…うう、どうしよう…  
オレ、なんかドキドキして…

ぼくも…おち●ちん、  
いつもよりむずむずしてるかも

オレ、姉ちゃんのおっぱい、  
気持ちよくしたい…っ

ねえ、どうしたらいい？  
姉ちゃん、教えて…？

どうして、そんなこと…

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

おっぱい

おっぱい



たくさん気持ちよくしたいんだ

お願い、姉ちゃん…教えてよ

耳元に響く弟たちの甘えた声に、私の羞恥心は溶かされていきます。

…じゃあ、えつと…硬くなってる  
ところ、指でくりくりしたり…  
手のひらでみもみしてみて

ん、ん…

ふんふん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

あ、ごめん、痛かった？

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ  
ジュジュ

あ、

ん

ううん、違うの…気持ちよかったから、そのままして

わ、分かった、じゃあもう一回…



お姉ちゃん…おっぱい  
いじられると、あそこが  
うねうねってしてる…

真五…そういうの、  
言わなくていい、から…

あははは  
あははは

あはは

あはは♡

あはは

ぐぐぐ!!

あはは

あはは

あはは



ぼくもお姉ちゃんのおそこ、  
きもちよくしてあげたい…

この硬くなつてるところも…  
たしか、きもちいいんだよね…？

しゅろろ

しゃん…

あはは

あはは

くっさん

ちゅ

ちゅ

あちや  
あちや

んんんん  
んんんん

ひあ…真五、だめ、そこ…っ  
そんなにいっぱい、  
舐めなくていいから…っ

必死で聞こえていなののか、それとも言葉だけの静止だと分かっているのか、真五は執拗にクリトリスをいじめていきます。

ちゃっっっっ

くろくろ

三人の手と舌が身体中を這いまわって、私ももう、我慢できなくなってしまうので……。

おははは

ブルブル

ガクガク

はあ

んんん

くっっっ

だめ、私、もう……



おはようございます

お

アアア

油断していらたのでしょうか…三人から同時に責め立てられる気持ちはよきよき、私は漏らしてしまいました。

びちゃ♡  
びちゃ♡

透明な汁は、あそこを舐めていた真五に降りかかっています。

びちゃ♡  
びちゃ♡

びちゃ♡

待って…潮、噴いて…

女、女、女

ああ

あひ

ブルブル

ん…っ

ガクッ  
ガクッ

真五、ごめんね…  
せっかく着替えたのに、  
服まで濡れちゃって…

ゼクッ  
ゼクッ

はみゅっ

ムムッ

ううん、すぐ乾くと思うし  
大丈夫だよ

それより、お姉ちゃんを  
気持ちよくできて嬉しかった

ムムッ  
ムムッ

あわああ

うん……  
姉ちゃんのこと、オレたちが  
気持ちよくしたんだよな……

弟たちは頬を赤く、息を荒くしながら、  
私をじつと見つめてきます。

三人のスポンは、もうはち切れそうなの  
ほどに山を作つてらて……。

それじゃ、今度は三人が  
気持ちよくなる番ね

おち●ちん、小さくなるまで  
してあげるから……  
あとはお姉ちゃんに任せて？

ムラ  
ムラ

ギ  
ギ

この続きは、本編でお楽しみください！！